

3 本時案③【活用場面】（5時間目／7時間中）

(1) 本時のねらい

- ・友達のよい動きを見付けたり、自分で考えたりしたことを友達に伝えることができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・友だちのよい動きを見つ付けたり、自分で考えたりしたことを友だちに伝えている。

(思考・判断・表現)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 10分	<p><b>1 集合、用具の準備、挨拶、健康観察</b></p> <p><b>2 準備運動、主となる運動につながる運動遊び</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物歩き等（カエルの足打ちも含む）にテンポよく取り組ませる。</li> </ul> <p><b>3 本時のねらいと評価項目の確認</b></p> <p>めあて 友達の「いいな」と思った動きや自分で考えたことを友達と伝え合おう。</p>	
	<p>評価 友達のよい動きを見付けたり、自分で考えたりしたことを友達に伝えている。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見たり、伝えたりする相手、場所、流れを説明する。また、伝える時の話型を掲示物等で提示し、児童が伝えやすいようにする。</li> <li>・友達の動きを見て伝える様子を指導者が実際にやって見せることで、活動をイメージしやすくする。</li> </ul>	
なか 30分	<p><b>4 活動Ⅰ（運動タイムと伝え合いタイム）</b></p> <p>○場を工夫して遊んだり、友達のよい動きを見付け伝えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の工夫を想起させることで本時の場や遊びをイメージさせる。</li> <li>・「遊びグループ」と「観察グループ」に分けることで友達のよい動き等を見付け伝えやすくする。</li> <li>・運動タイムでは「遊びグループ」「観察グループ」に分かれて遊んだり、観察したりさせる。伝え合いタイムでは「遊びグループ」は聞き、「観察グループ」は見付けたことや考えたことを伝えたりさせる。</li> <li>・伝え合いタイムでは、最初に話型や聞くときの態度等に触れ、安心して伝える活動に取り組むことができるようにする。また、活動Ⅱで「自分がやってみたい場や遊び」も話題にさせる。</li> <li>・伝え合いタイムが済んだら、役割を交代して運動タイムから始める。</li> </ul> <p>【期待する児童の発言】 Aさんのまるたころがり「いいな」と思いました。わけは、上りコースを速く回って上っていたからです。</p> <p><b>5 チェックタイム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝え合いタイムで話題になったことをグループで共有することで、活動Ⅱへの意欲を高める。</li> </ul> <p>【【期待する児童の発言】】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Aさんに前転がりが「まっすぐでいいね」と言われて、次は後ろ転がりでもチャレンジしたいと思いました。</li> <li>・Bさんの川跳びがかっこよかったので、次は真似したいです。</li> </ul> <p><b>6 活動Ⅱ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動Ⅰと同様の流れで活動Ⅰやチェックタイムで見付けた「やってみたい場や遊び」や活動Ⅰでできなかった場や遊びに取り組ませる。</li> </ul>	<p><u>おおむね満足</u></p> <p>(観察・ワークシート)</p> <p>友達のよい動きを見付けたり、自分で考えたりしたことを友達に伝えている。</p> <p><u>十分満足</u></p> <p>見付けたり考えたりしたことを、実際に動いたり擬態語等を用いたりしてわかりやすく伝えようとしている。</p> <p><u>努力を要する子どもへの手立て</u></p> <p>「誰の動きがよかったか」「どこがよいとおもったか」等焦点化して問い、答え(伝え)やすくする。また、話型モデルを提示しそれに沿って伝えさせる。</p>
まとめ 5分	<p><b>7 本時の振り返り</b></p> <p>○自分の活動を振り返り、自己評価をワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「友だちに伝えたこと」や「自分が考えたこと」を数人に発言させ、次時への意欲付けを行う。</li> <li>・動作で示したり、擬態語等を使ったりしてわかりやすく伝えている児童を称賛し、望ましい姿を全体に広げる。</li> </ul> <p><b>8 健康観察、整理運動、挨拶、用具の片付け</b></p>	

## マット遊び（マットランド）の場設定（例）

ろくぼく

【ろくぼくコース】  
・さか立ちをして移動

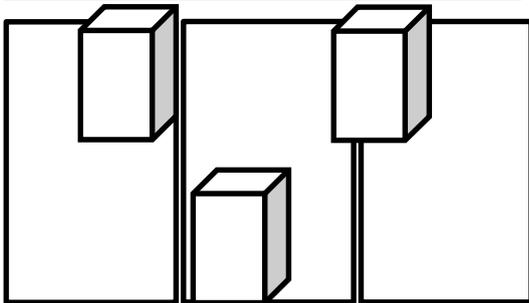


【さかさコース】  
・ブリッジ  
・背支持倒立じゃんけん

【めいろコース】  
・障害物に当たらないよう転がる  
※障害物は、段ボール箱などを使用

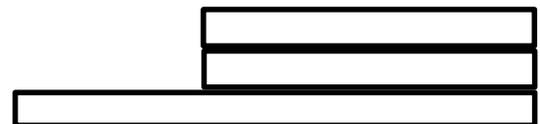
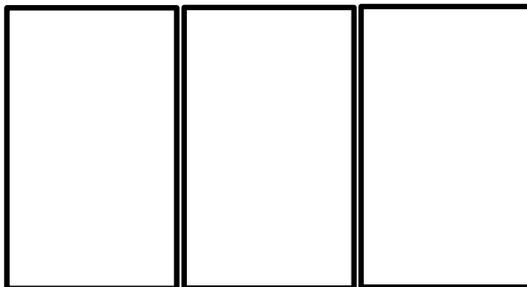
【さか道コース】  
・さか道マット  
・踏切板でさか道

【ふれるなコース】  
・マット上に、赤白玉  
などを置いて転がる



【ひろびろコース】  
・友だちとタイミン  
グを合わせて転がる

【高いコース】  
・マットを重ねて、高  
いところへ転がる



## 5時間目のワークシートの項目の例

全体のめあて：友達の「いいな」と思った動きや自分で考えたことを友達と伝え合おう。

### 【伝え方の例】

〇〇さんの前転がりか「いいな」と思いました。わけは、ジグザクの場でコーンにぶつからないように転がっていたからです。

### 【振り返り】

○友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えることができましたか。  
（よくできた      できた      あまりできなかった      ）  
○友達にわかりやすく伝えるために、頑張ったこと、工夫したことなどを書きましょう。

○楽しく運動遊びができましたか。  
（よくできた      できた      あまりできなかった      ）  
○今日の感想やこれからやってみたいことなどを書きましょう。